

# きずな

2010年 3月11日

NO 783

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

井原市議会2月定例会で3月4日に日本共産党の森本ふみお議員が6項目質問しました。森本議員の質問と執行部の答弁の概要は次のとおりです。

## 森本ふみお議員の質問の概要

### ◆発光ダイオード(LED)照明への切りかえを積極的に進めては

公園の照明や建物(公共施設)の照明などを、CO<sub>2</sub>削減や光熱費の節減の観点から、切りかえ当初は予算がかかりますが、将来のことを考え積極的かつ大胆に発光ダイオード(LED)照明器具に切りかえてはどうですか。22年度予算での対応状況と今後の方針について伺います。

### ◆老朽化が進んでいる水道管敷設がえ計画を前倒しで実施を

全国各地で水道管の破裂などで大きな被害が発生しています。井原市では計画的に老朽管の敷設がえをしているようですが、水道管の破裂による大事故を起こさないためにも、計画を前倒しして実施してはどうですか。

### ◆年齢に関係なくひとり暮らしの希望者には緊急通報装置の設置と市民へのPRを

緊急通報装置は、現在、64歳以下の方の設置者はいないようですが、一人暮らしの方で本人が希望すれば、年齢に関係なくこの装置を設置してはどうですか。また、このことを広く市民にPRすべきではないでしょうか。

### ◆市民の安全確保のため、消えかかっている外側線の緊急な引き直しを

幹線道路に限らず、市内の多くの箇所を外側線が消えたり消えかかっています。市民の安全確保のため緊急に引き直しをすべきではないでしょうか。

### ◆食べ物アレルギーのある園児・児童・生徒の給食時の発作に対する対応の確立を

10月中旬から幼稚園給食が実施されるようですが、特に給食を食べる園児数が増加することで、新たにアレルギーが発生する園児がふえることが予想されます。食べ物アレルギーのある園児に対する対応をより一層確立することが求められます。アレルギーのある園児・児童・生徒の給食時の発作に対する対応の確立をどのように考えておられますか。



### ◆元西江原幼稚園跡地を舗装しますが、ご近所に対する「ほてり」対策と大量降雨時の排水対策をどう考えておられますか

新年度で元西江原幼稚園跡地を舗装する計画ですが、約700坪の舗装ですので、ご近所への「ほてり」の影響や、大量降雨時の急激な排水に対する対策を講じる必要を感じますが、これらのことをどう考えておられますか。

## 左の質問に対する執行部答弁の概要

22年度で田中美術館の展示室部分及び田中館通り線の街路灯を発光ダイオード器具に取り替える工事を計画している。

発光ダイオードの技術開発、コスト低減等の状況を見ながら、市道、公園、市内小・中学校、その他の市が管理する公共施設については、照明器具の老朽化に伴う更新時、省エネ、CO<sub>2</sub>削減効果のある発光ダイオード照明を検討していきたい。

本市では、管路の維持・管理について毎年漏水調査を地区ごとに実施しており、ブロック分けにより漏水箇所を特定し、重点的、計画的に整備・更新をしている。

今後も限られた予算を効率的に執行しながら、安全・安心な水を使用してもらうため、老朽管路の解消に努める。



持病があるなど虚弱で一人暮らしで不安がある方については、65歳に達していない方でも対象になる。

福祉事業を掲載した「福祉のしおり」を全戸に配布したり、出前講座、広報等でも周知を図っている。今後も民生委員、児童委員の研修会等あらゆる機会を通じて、積極的に周知を図っていく。

日常の職員のパトロールや市民の皆様の通報により、緊急性の高い箇所を中心に順次計画的に引き直しを行い、整備している。

今後も職員による道路パトロールを強化して緊急性の高い箇所から引き直しを実施して行く。

幼稚園や小学校では、入園や入学時に食物アレルギーの有無を調査書により保護者に確認している。

対応については、日本学校保健会が作成したガイドライン及び県教育庁保健体育課が作成している手引きに沿って対応している。

基本的には症状の確認をし、安静にして経過観察をする。必要に応じて保護者への連絡を行う。今後も、保護者との連携、学校園での対応の確認をしっかり行いながら、すべての幼児・児童・生徒が安全で楽しく給食を食べられるように配慮していきたい。

民家との間にはコンクリートの塀があるし、幅員約4mの市道を挟んだ状況なので、直接の影響は少ないのではないかと考えているが、施工に当たっては隣接民家へ説明をし、ご理解とご協力をお願いしたい。

大雨に対する排水については、施工に当たり現地状況等を検証しながら、排水溝の設置など適切な対応に努めていきたい。

## 「きずな」先週号の瀧本市長の新年度の主要施策の概要説明の続き

**四季が丘団地**◆現在第1期分譲区画118区画のうち107区画の分譲ができ、第2期分譲区画84区画のうち42区画の分譲ができており、全体では149区画となり、定住人口も約480名に達した。今後も住宅建設助成措置を継続し、心豊かに暮らせる居住環境の整備を行い定住促進に努める。

**男女の出会いの場事業**◆従来の年2回の単市事業開催を予定しているほかに、井笠圏域振興協議会が行う結婚推進事業を活用し定住促進に努める。

**上水道**◆安全で良質な水を安定的に供給するため、水道施設の耐震診断調査を行う。◆引き続き第3次拡張事業を実施することとしており、中部第2水源系の老衰管敷設工事や井戸周り配管等の整備に取り組む。◆市民サービス、利便性の向上を図るため、コンビニでの上・下水道使用料金収納システムを構築する。◆簡易水道の芳井地区の生活基盤近代化事業が終了しましたが、引き続き中央簡易水道の施設整備を推進するほか、種花滝簡易水道、川町簡易水道、高原簡易水道、美星地区では宇戸谷簡易水道についても施設修繕を実施する。

**公共下水道**◆井原地域において本年度22区画の整備を行っており、これにより事業認可区域665区画のうち約543区画が完了する見込みであり、新たに面整備した区域の供用開始は本年7月の予定。◆新年度においては、引き続き下出部、笹賀、高屋、東江原、西江原地区の面整備を推進していく。◆芳井地区の特定環境保全施設の整備については、今年度9区画の整備をしており、これにより事業認可区域47区画のうち約21区画が完了する見込みで、共用開始は本年7月の予定。◆新年度においては、引き続き与井、佐原、東吉井地内の面整備をする。◆浄化センターでは引き続き自家発電設備の整備を実施する。

## 安全・安心のまちづくり

**防災**◆引き続き治山治水や危険箇所の整備を計画的に推進するとともに、市民参加の下、総合防災訓練を実施する。

**消防・救急**◆井原地区消防組合において業務を遂行している。井原地区消防組合への負担金のほか、消防機庫、警鐘台、水源等の修繕。また、小型動力ポンプ付き積載者の更新、防火水槽や消火栓の新設、新たに消化栓器具箱更新補助を行うなど、消防施設の整備・充実に努める。

**防犯**◆防犯のための環境整備として、自治会等による防犯灯の設置を促進するとともに、関係機関や地域と一体となった防犯活動を推進し、市民の防犯意識の高揚を図る。

**交通安全**◆緊急度に配慮した交通安全施設の整備を進めるとともに、関係機関や地域との協働により、交通安全運動を推進し、市民の交通安全意識の高揚を図る。



## “My”意識でみんながつくるまちづくり

**市民活動への支援**◆市民が安心して市民活動、地域活動やボランティア活動に取り組むことが出来るよう、市民活動総合補償保険に新たに往復途上の補償を加える。

**協働のまちづくり市民推進室の開催**◆協働のまちづくり市民推進室は、本年度は市内13箇所で開催し、各地区から提案があったテーマについて意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただいた。

今後も協働の推進には市民との対話が重要であるとの認識の下、引き続き開催したい。◆協働のまちづくりを積極的に推進するため、市民活動団体の主体的な取り組みへの支援を引き続き実施する。

**小規模高齢化集落対策**◆新たに小規模高齢化集落を活性化するための地域リーダー養成事業に取り組むものであり、集落の維持、活性化の牽引者となるリーダーを養成する。

**男女共同参画**◆井原男女共同参画プランに基づき、男女平等の意識づくりや男女がゆとりを持って働ける環境づくりなど、男女共同参画の取り組みを推進するとともに計画の改訂を予定している。

**国際交流の推進**◆次代を担う子どもたちに国際感覚を養う機会を提供し、国際化社会に対応できる人材の育成や市民主体の国際交流の活性化を図るとともに、外国人住民へのコミュニケーション支援や生活支援など引き続き多文化共生社会の推進に努める。

以上平成22年度における予算編成及び主要施策についてご説明申し上げました。本市も合併してはや丸5年が経過しましたが、井原市第5次行政改革大綱集中改革プランに基づき行政改革を進めながら、まちづくりの指針である「井原市第6次総合計画」を着実に実行し、市政の発展に取り組んでいきたい。